

財団法人富士見市施設管理公社 平成 24 年度(4 月～2 月)事業報告

1 はじめに

本年度は、富士見市市制施行 40 周年並びに富士見市民文化会館キラリふじみ開館 10 周年という記念すべき年でありました。そして、当財団にとって大きな節目となる公益財団法人への移行を平成 25 年 3 月 1 日に果たし、本報告が財団法人富士見市施設管理公社の最後の事業報告書となります。

2 施設管理運営事業

(1) 富士見市民文化会館キラリふじみ

富士見市民文化会館キラリふじみの開館 10 周年の年である本年度は数多くの記念事業等に取り組み、関係団体及び市民の皆様と連携をはかりながら実施してまいりました。サーカスバザールのように「劇場・サーカス・市場」の 3 つが融合した多くの人が集う事業や、芸術監督とアソシエイトアーティストたちを中心に市民と結びつきをもった舞台芸術の上演を行う事業を展開し「ひととまちがキラリとかがやく市民文化交流都市」の拠点として市民の皆様の理解を深めることができました。また、お客様により安心して快適にご利用いただけるよう、施設・設備の維持・管理につきまして、館内の点検を強化するなど取り組んでまいりました。

また、毎年 2 月に実施しております利用者アンケートでも、「施設のイメージ」は、「満足・ほぼ満足」という回答が 90%と昨年より高く、本年新たに 1 項目追加した「施設の使いやすさ」においては「使いやすい」が 87%の数値になっており、皆様に気持ちよく安心してご利用いただけていることがわかります。

(2) 富士見市立市民総合体育館

富士見市立市民総合体育館は、22 年が経過し老朽化していましたので、設置者におきまして本年度、空調及びボイラー設備等の改修工事が実施されました。当財団としては、より一層お客様が安心して快適に利用できるよう、日常の点検をはじめとする施設の適切な維持管理を行うとともに、案内業務ではこれまで以上に親切、丁寧そして的確な対応に取り組んでまいりました。

また、利用者アンケート調査には、職員の対応については、不満・やや不満が昨年度は 5%程あったものが 1%にまで下がる結果として現れており、お客様が気持ちよく安心安全にご利用いただけていることがわかります。

3 自主事業

(1) 芸術文化事業

富士見市民文化会館キラリふじみでの活動においては、オリジナリティ溢れる地域の芸術文化活動を振興する中核的な劇場としての機能と役割の確立に向けた、芸術監督とアソシエイトアーティストが中心となり展開する多彩で豊かな文化事業に加え、富士見市市制施行 40 周年、富士見市民文化会館キラリふじみ開館 10 周年を記念する文化事業を、富士見市をはじめ多くの関係団体そして市民の皆様と連携しながら展開しました。

具体的な活動としては、1.ひとづくり、2.まちづくり、3.未来づくり、の活動理念を実現するために、公演(創造)事業、教育普及事業そして市民参加事業という 3 つのジャンルを柱に展開してまいりました。

特徴的な取り組みとしては、多田淳之介芸術監督演出によるレパトリー作品『あなた自身のためのレッスン』では、昨年度の初演から、早くもキラリふじみでの再演、さらに長崎、北九州、静岡でのツアー上演と、キラリふじみで生まれたレパトリー作品を全国に届けることができました。

アソシエイトアーティストの永井愛さんが主宰する劇団二兎社とキラリふじみ他、公立劇場 4 劇

場の共同制作『こんばんは、父さん』では、各地での公演を成功させたことで、作品づくりの新しいスタイルを提示しました。

そして、富士見市市制施行 40 周年、富士見市民文化会館キラリふじみ開館 10 周年を機に新たにスタートした『サーカス・バザール』では、キラリふじみ全館を会場に、館内いたるところで繰り広げられるサーカス芸と市内の農作物や特産品を扱う市場とが融合し、地域の新たな魅力や人々の新たな出会いを生み出す空間を創出しました。

また、市民自らが参加し、表現する活動としては、アソシエイト・アーティストの田中泯さん(舞踊)、矢野誠さん(音楽)が豊富な経験とそれぞれが持つ独自の技法や発想を活かして、継続して市民との共同創作作業を行い、市民の自発的な創造性が活かされた、オリジナリティあふれる作品を創作、上演しました。

館外での活動として継続している、市内小中学校でのアウトリーチ事業では、多田淳之介芸術監督が富士見市立富士見台中学校(2年生全クラス)、また劇団青年団主宰である平田オリザ氏が演劇の手法を用いたワークショップを富士見市立鶴瀬小学校(5年生全クラス)で行いました。授業ではなかなか出来ない体験に、児童、生徒たちのいきいきとした姿がとても印象的でした。

上記の一連の活動に対しては、文化庁(優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業)及び財団法人地域創造(地域の文化・芸術活動支援事業)から昨年度に引き続いての助成を受けることができました。

(2) スポーツ事業

市民の皆様がスポーツに親しみ、その健康維持及び増進を目指すことを目的として本年度から「キラリ☆スポーツカレッジ」を開講いたしました。親と子のためのコース(親子リトミック)と老若男女を対象とした前期・後期のコース(前期:弓道,卓球,ボディポテンシャル,ヨガ,後期:インディアカ,フットサル,健康体操,エアロビクス)を実施し、幅広い世代の方に参加いただきました。このほか、小学生を対象とした春休み・夏休み卓球教室やダンス教室、中高年を対象としたダンス等の教室やバスケットボール大会・フットサル大会を実施しました。

キラリ☆スポーツカレッジは初めての取り組みでしたが、参加された方々からは一定の評価をいただくことができました。引き続き事業内容及び広報宣伝、開催時期、時間帯等、今後に向けて検討のうえ必要な改善をまいります。

スポーツ用具レンタル事業(ラケット,ボール等の貸出)につきましては、お客様には好評をいただいております。

4 おわりに

昭和 59 年、(財)富士見市施設管理公社として設立し、富士見市立那須山の家・満天星苑^{どうだんえん}と富士見ガーデンビーチの受託管理に始まり、指定管理者制度に基づき 2 施設を運営する現在の体制に至るまで、多くの市民の方々にご支援をいただきながら 28 年余の歴史を刻むことができました。

この間、当財団が果たしてきた役割を概観し、歴代の理事、監事、評議員並びに関係者の皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。この 3 月からは、更に公益財団法人としての責務を明らかにし、精進してまいります。

ここに、改めて関係各位のご指導とご協力に深い感謝を申し上げ、財団法人富士見市施設管理公社第 29 期の事業報告といたします。

平成 25 年 5 月 14 日

公益財団法人キラリ財団
理事長 紫関 伸一